



2011年4月25日

セカンドハンド通信 NO.64



セカンドハンド 本部事務局 TEL&FAX 087-861-9928
 〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18
 E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://2nd-hand.main.jp/

1つでも多くの笑顔を増やしたい ～セカンドハンドの今年度の計画～

**医療施設建設支援**

農村部のスヴァイリエン州にお産できる施設を建設予定

**孤児院支援**

4月スタートの新規フォスターペアレント募集中！
 子どもたちの食料の購入費の支援要請がありました。

**自立支援**

バナナ紙、手作り石鹸、現地の素材を生かした新しい商品開発中！

**救急医療支援**

人々の命を守る救急隊の運営費支援
 救急隊員が誇りを持って人命救助中

**医師来日研修**

救急医療体制の構築のための、キーパーソンの育成
 →詳細p3

**奨学金支援**

セカンドハンドユースによる中・高校生の支援。他団体や個人による大学生支援



関東東北大震災で被災された方々
 に心よりお見舞い申し上げます

関東・東北大震災支援

行政や大きな団体の支援で見落とされた地域への物資支援など実施

**人材育成**

セカンドハンドユースのサポート、ボランティア体験受入などを通じた、国内の青少年の育成

支援先の視察と交流

支援の成果を確認し、現地と日本、双方の理解を深める

**チャリティーコンサート
開催 9/22**

「のだめカンタービレ」に出演のヴァイオリン奏者パーヴェル氏によるコンサート

**NEWS!****図書館活動の車が決まりました**

セカンドハンドが建設支援した小学校のあるコンボトム州も含む4州で、シャンティ国際ボランティア会が行う図書館事業で4月末から使われます。



「セカンドハンド」は、ボランティアが主体となって運営する国際協力団体です。主な支援先はカンボジアで、学校建設や奨学金支援などのほか、自立・医療・孤児院支援を行っています。資金源は皆様のご寄付とチャリティーショップ(提供された品物を無報酬のボランティアスタッフが販売)。一人ひとりの力は小さくても集めれば大きな力となる」をモットーに活動しています。世界の誰かのために、あなたの力を貸してください。

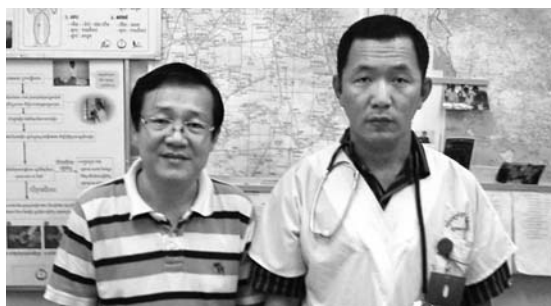
商品提供やご寄付など、支援してくださった皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。



カンボジアの医師来日研修



今年度からセカンドハンド&TICOの連携で実施します！



TRY BROS プノンペン市保健局救急車チームリーダー（左）
HENG LONG プノンペン市立病院集中治療部（右）

セカンドハンド&TICOが連携するカンボジア・救急医療支援の強化事業で、5月、カンボジアの医師2名を招へいします。昨年度までの3年間、香川県がJICAとの連携で実施してきたカンボジアの医師来日研修事業を、今年度から私たちが主催します。5月20日頃から2週間程度来日し、香川県立中央病院や高松消防、徳島県のTICO（さくら診療所）など様々な機関で研修を受ける予定です。

セカンドハンドは2003年に貧困者のための医療

アフリカでの小学校建設事業

まだまだ続く ソンコンジェ・コミュニティスクール建設

TICO（徳島）と連携して昨年6月からザンビア・モンボシ地区ソンコンジェ村に建設を始めた2棟の学校（約380万円）。当初予定から大幅に遅れ、完成は今年10月予定…。地域の人々を雇用しており、畑仕事や冠婚葬祭などで抜けることもあるため、何とも気の長い事業となっています。

本格的に雨期に入ったものの、ソンコンジェ村の住人達は長引く雨にも負けず、子どもたちのよりよい学習環境のために地道に作業を続け、ゆったりですが順調に進んでいます。

そんな現場から、レポートが届きましたのでご紹介します。



2月に1つ目の校舎にドアフレーム、3月の初めには窓枠が入りました。そして、2棟目の校舎の基礎工事が始まりました。

ソンコンジェ・コミュニティスクールの建設は村人から選出されたメンバーが主体となって行っていますが、校舎のデザインや建築の手法についてはTICOのアドバイザーから細かい指

示が出されます。こんなに大きな建物を建てるのは村の人々にとっては初めてのこと。思い通りに作業が進まないこともあります。しかし問題にぶつかる度に、アドバイザーの指示を仰ぐ彼らの目は真剣そのもの。細部の仕上げが建物を長持ちさせるためにいかに重要なのか、自然光を効率的に取り入れるためにはどんな方法が最適なのか等、建設が進むと同時に新しい知識と技術を吸収しています。近頃建築チームの面々が自信に溢れて見えるのは私の気のせいでは無いはずです。

もちろん先生達やPTAも建築チームの仕事を黙って見ているだけではありません。セメントや建築資材の管理や作業に必要な水の提供など、村全体で学校の建築をサポートしています。

村人みんなで建てた学校で子ども達が勉強できる日が待ち遠しいですね。

TICOザンビア事務所 黒田



専門家による厳しい指導

cambodia



プノンペン市西部保健局・局長ソーチャットさん、皆さんより皆さんが幸運に無事であったことを聞いてとてもうれしかったです。あなた方の国が幸運に恵まれ、二度とこのようなことが起こらないように祈っています。

施設の運営費を支援してほしいと依頼を受けてから、お産のための施設の建設、そして救急隊の育成に取り組んできました。救急隊の育成や医療技術研修に関しては、技術力や知識を有するスタッフを抱えるTICOや香川県の協力を得て実施しています。

昨年度までの3年間で計6名の医師が来日研修を受け、プノンペン市立病院では院内の救急初療体制の確立など、成果が徐々に現れています。今後もプノンペン市保健局、市立病院などから年に2回、2名ずつ日本に招き研修を行う予定です。

百聞は一見に如かずと言いますが、来日し、日本の医療体制また医療関係者のホスピタリティ

など、自分の目で見、体験しないと理解できないものも多くあります。人材、医療器材などが不足する中、いかに人命を守っていけるか、今後も、新たな変革を起こす医師達の奮闘は続きます。その頑張る医師達をバックアップする形で、今後も救急医療体制の確立をサポートしていきます。

来日医師による報告会開催！

5/28(土) 11時頃～

@アイパル香川

報告会終了後は、懇親会も開催予定

お申込みは、本部事務局まで

スヴァイリエン職業訓練センター 女性たちの試み ～ 地元の素材を活用した商品開発 ～

手作り石鹸、バナナ紙、足踏みミシンを使った布製品を製作してきたセンターで、新たな分野での商品を試行錯誤中です。もっと幅を広げていくためにも、村に生えているバナナの木、マンゴー、身近にあるもので何かできないかと女性達から相談があったのがきっかけでした。

理科の基礎知識がない農村部の人々にとって、「アルカリ性、酸性」すら聞いたことがないため基礎からの勉強です。

何よりも驚いたのが、材料調達の難しさ。現地の方と行動を共にしているのですが、一つのモノを探すのに何軒のお店を回ればよいことか。日本で簡単に手に入る温度計、軽量カップ、ゴム手袋・・・何もかもが見つけることが難しいのです。予想以上の難しさを感じました。布一つとっても、こんなに大量にあるのに、同じものがない！今まで、なぜ、注文しても同じ布の



説明を一つ一つメモに取る女性達



いつも楽しそう・・・
お願いだからゴム手袋をつけて！



センターの周辺にもたくさん
のストリートチルドレンがいる

商品が来なかったのが納得です。できるだけ現地で調達できるようにと、ない道具も図を描いて作成を依頼し、材料も現地で入手できるもの、また地元の

ものを基調としています。

日本では簡単に済むことも、カンボジアでは数倍の時間を要します。日本人スタッフが焦る中、カンボジアの方はいたって落ちつき楽しそうです。試作中は「ほ～っ、これを混ぜたらこんなモノができるのか」と不思議そうな嬉しそうな様子。

新商品を作り、村の貧困の女性達に新たに職を創出するというミッションに女性達は目をキラキラさせます。決して豊かな生活を送っている女性達ではありませんが、「困っている人を助けたい」自然と湧いてくるそんな気持ちを彼女達から感じます。日本から技術を提供し、彼女達から人としての生き方を学ぶ。国際協力はそんな国境を越えた交流の場でもあると感じています。

今年中には、商品を完成させる方向で進めています。ご期待ください！

cambodia



ラチャハンディクラフト・代表シバナさん、皆さんより
日本の大変な状況に心を痛めています。私達は皆さんの状況が少しでも早く良くなるように願っています。
あなた達そして日本の人々の幸せをお祈りしています。

打ち込みうどんの調理中
避難所の方とボランティア

石巻市へ向けて

石巻の皆さん
「香川の皆さんがいるから私達大丈夫」

3月 March

カンボジアで…

11日 JICAの事業で創設者が、商品開発で職員がカンボジアにいる時に地震発生。セカンドハンドで何ができるか…、運営委員とメールで協議。

12日 各店頭に募金箱設置

16日 TICO(徳島のNGO)から、連携依頼の電話。名取市に必要な物資の情報を得たとのこと。マスコミへの広報と受入れ準備。

17日 朝から電話と物資が殺到。県外からも届き、店頭から溢れ、車で倉庫に運搬しつつ対応。皆の「何かしたい」という気持ちを強く感じる。仕分けボランティアも次々加わる。スーパーの(株)マルヨシセンター、イオン高松ショッピングセンターも店頭での物資募集で協力。



物資を持って次々と



折り紙にメッセージ託して

18日 第1便(名取市へ)
TICOとの連携輸送で4t車が出発。

21日 第2便(名取市へ)
10tトラック(TICO連携) いっぱいに積み込み名取市へ

22日 第3便(石巻市へ)
関東在住のセカンドハンド理事から石巻高校避難所への支援要請メールが届く。「物資が届いていない」「津波で濡れたまま。下着や靴下がほしい」
夕方下着類30箱を佐川急便仙台営業所止めで発送。

23日 第4便(石巻市へ)
募集した物資41箱を佐川急便仙台営業所止めで発送。
※3便・4便目は、避難所のサポートをしている関係者が石巻市まで搬送



仕分けが追いつかない!!



石巻高校避難所で。中央がリーダー

25日 第5便(石巻市へ)
仕分け作業に来たアイルランド人男性が、電子マップ作成のため東北へ。車に満載した物資を届いていない地域で配布。

28日 紹介を受け連絡を取っていた石巻市の雑貨店オーナーから、避難所外の人たちへの物資支援依頼あり。

必要なところに必要なモノを

石巻高校避難所のリーダーが「セカンドハンドが依頼にしていち早く対応してくれ、届けられた物資から細やかな心遣いも感じた。最初は本当に何もなくて大変だった。あの物資がなければ…」と声を詰まらせ感謝の言葉をいただきました。思いを馳せ、力になりたいという皆の思いが物資から伝わったのでしょう。

被災地の方々の今

「目の前で流された人のことが頭から離れない」「親類や関係者が全員無事だった人なんていない」「携帯電話の請求書が届き、我に返った」「日を追うごとに現実を実感し精神状態が悪くなる」など様々な声を聞きました。本当に辛い現状の中で、布団で寝られるようになるなど、些細なことでも日常を取り戻し、心の安らぎにつなげられたら…と感じました。

人々の思いをつなげる場

「支援活動に携われて嬉しい」「無力さを感じていたが、地に足をつけることができた」「活動できる場があることに感謝した」「自分の存在を歯がゆいと思っている人、その代表でセカンドハンドがあるのだと思う」という声を聞きました。日に日に増える協力者に、いかに皆がこの機会を待ち望んでいたのかを実感すると同時に、市民団体の起源とも言える「何かしたいと思った人達の思いをつなぎ実現する場」がここなんだと実感しました。

社会の人材を育てる市民団体の存在

「何かあった時に、采配を振れる人材を育てる」セカンドハンドの学生部設立にはそんな意図もありました。
今、避難所やボランティアセンター等では才量あるリーダーが力を発揮しています。現地を訪問し、非常時こそ冷静に先をみえ、人を束ねて誘導し、人をつなぐ存在がいかに大切かを痛感しました。被災地へ入るボランティアたちの力を最大限引き出すためにも、コーディネートできる人材が必要です。観察力、分析力、決断力、調整力、問題解決能力…、こういった力はセカンドハンドの活動でも求められ、日々実践しながら鍛えられていきます。まさに、社会の人材を育てる貴重な実践の場なんです。

29日 第6便(石巻市へ)
炊き出しボランティアの方が4tトラックを出し、物資と職員を乗せ出発。

30日 石巻の避難所外の住民へ2.5t分の物資を配布。
現地のニーズを本部へ連絡。ニーズに合わせ、即、物資募集。

31日 石巻高校避難所(約350人)に打ち込みうどんの炊き出し。おいしいと喜んでくれる。リーダーの統率力か、避難所は明るく清潔で雰囲気良かった。

4月 April

1日 翌日の物資輸送に向けて、石巻より戻った職員も深夜まで準備。届けるふとんにカバーがなく、購入。8,840円

2日 第7便(石巻市へ)
林田物流(株)の全面的な協力で、6t車に布団など満載。創設者も同乗。途中、富山で味噌を受け取る。
炊き出し用の資機材購入116,620円

3日 ①物資を石巻の雑貨店となりのコンビニ駐車場に下ろす。100人を超える列ができ、1人5点を配布。涙して喜ばれる。②石巻のそろばん教室の方に出遭い、そろばん寄贈を約束。③TICOと石巻高校で合流し、カレーの炊き出し。石巻高校に炊き出しセット寄贈。

5日 キャッシュ・フォー・ワークの企画が決定

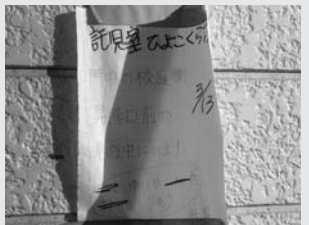
被災地支援を機に様々な出会い、
感動がありました。

支える、つながる、人の輪

■過去何度か輸送でお世話になっている林田物流。物資を送ろうと考え社長に連絡を入れると「連絡あったら協力するようもう社員に言っとる」と全面協力。「ガソリン代くらい払います」というと「その分、必要なところに使ってくれ」と…。経済的にも大きな支えですが、どれほど私たちがこの言葉に勇気付けられたか…。
■第5便を担った彼が、ヨーロッパで開催する会議などで支援の広報を実施。オランダなど世界から寄付金が届いています。
■ある会社社長から「いるやる思うて業者に頼んで作ってもらたんや」と電話が。避難所用にダンボールの仕切りを100セット作ったそう。アレルギー対応の糊を使って作った心遣いに感動。
■岩手県の縁者を探しに行く個人から物資運びを手伝いたいとメールが。石巻への物資を積み込む時、「子どもには、知らん人は信用せんようにと話してきたけど考えが変わりました」「信用してくれ、ありがとうございます」とお願いしたこちらが困るほどに感謝されました。他人や自分を信じることで援助活動の基本かも…。
■埼玉の支援者が富山の味噌屋さんに「被災地へ送る」味噌を大量注文。物資輸送のトラックが北陸道を北上中に連絡が取れ、富山の氷見インターで受取りました。大幅割引き&醤油を提供いただきました。
■石巻でボランティアの寝泊りスペースを探し歩いていたら、立派なそろばん教室が目に入り訪ねると快く協力して下さることに。5月いっぱい無償で教室を開催するが、そろばんなどを流された子どもがいて聞き、文具とそろばんの物資募集。電話帳で調べかけたそろばん教室の先生が「これでもご縁。何かしたいと思っていた」と香川県支部で集めてくださり、さらにケースを買い足してご提供くださいました。
■他にも「お客さんとの協力で」と下着類を大量に寄付してくれた方や、「これ役立てて」と物資とともに店頭で渡された封筒に後で確認すると7万円が入っていたなど、本当に驚きと感動の毎日でした。被災地の皆さんにもそんな想いのつながりが伝わったはず。



津波の跡

壊れた建物、あちこちに貼紙
まだ親の迎えのない子も

13日 毛布を配った方から「友達や親戚宅に避難している人たちは気を遣い疲れています。毛布1枚でも自分のものと思えと夜涙が止まらないと言っていました」

14日 お風呂プロジェクトの方から協力要請あり。
今後、高松市とも連携してよりよい支援になるよう取組む予定。

これからの支援活動
「キャッシュ・フォー・ワーク」

東北広域震災NGOセンター(国際ボランティアセンター山形主催)、避難所のリーダー、セカンドハンド、三者の会合で、瓦礫などを撤去すれば半壊の家に帰れる人が避難所にいる、ボランティアが全国から来てくれるが、もっと地元の人材を活用できないか?…と議論を重ね、「キャッシュ・フォー・ワーク」を解決策として取組むことにしました。
雇用を創出し、地域の問題を解決する事業で、国際協力の場では、労働の対価として食糧を援助するフード・フォー・ワークなどと共によく使われる手法で、地域社会の自立を促すことを目的とした事業です。義援金など現金の支給がなかなか進まない中、瓦礫撤去などの仕事により現金を受け取ることができする仕組みです。遠隔地にあるセカンドハンドとしては、事業の広報、資金集めを担当します。ぜひ、ご協力ください。



学校でのチャリティーナ取り組み紹介

カンボジアの奨学生たちは皆さんの支えで学校に行けています。それだけでなく、応援してくれる人がいることで、どれほど心の支えになっているか…。ありがとうございます。



古高松南小学校

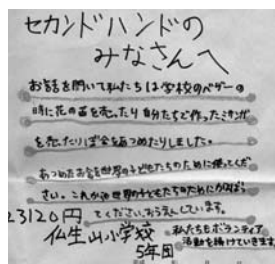
環境、福祉活動をねらいとしアルミ缶回収をし、地域の団体に寄付をする活動を5年間行っています。2年前から「地域だけではなく、世界にも目を向けよう」とカンボジアの奨学金支援をしてくれています。生徒達が「誰かが喜んでくれるのは嬉しい、これからがんばりたい」と先生にも意欲を見せているそうです。頼もしい！



生徒さんと平野理事長

仏生山小学校

社会に貢献することとはどういうことなのか学んでもらおうと、先生が授業に平野理事長を招いたのがきっかけでした。その後、地域イベントに出店し、花の苗、自分で作ったミサンガを販売しカンボジアへのご寄付をいただきました。生徒さん達が、来店者に一生懸命カンボジアの生徒の話をしていたのが印象的だったそうです。



ご寄付に添えられたお手紙

■下記は、メール、FAXでご注文できます。

TEL&FAX : 087-861-9928

E-mail : jimukyoku2hand@yahoo.co.jp

GOOD
GOODS

カンボジア支援につながる
フェアトレード商品

SECOND
HAND
fair trade



500円

(商品番号1191)

新商品を入荷しました。
ふさふさとしたたてがみがなんとも愛らしく、ひそかに人気上昇中です。

〈郵送での商品をご希望の場合〉

4桁の商品番号、住所、氏名、希望の数を明記の上、FAXかメールで申し込みください。(送料は別途)

送料は別途:500円

カンボジア商品500円、CD90円、ハガキ90円、募金箱160円

合計1万円以上お買い上げの場合は送料無料

尾道アンカークラブ

パイロットクラブの大会が昨年高松で開催された際にセカンドハンドの講演を聞き、ボランティア体験をしたアンカークラブ(青少年の組織)の会員が、大会後に企画したイベントで似顔絵を描いて販売し、収益金を寄付してくれました。チャリティショップのボランティア体験を通じ、売る側、買う側が楽しみながら国際協力しているシステムに魅了され、何か自分たちにもできることはないかと美術学科の学生が得意の絵で貢献してくれました。尾道での支援の輪、しっかりとカンボジアにお届けします！

*文京大学アンカークラブの皆様からも寄付を頂いています。残念ながら詳しいお話が聞けませんでした。本当にありがとうございます。



素敵な看板でアピール

SPECIAL THANKS 〈敬称略〉

12月15日～4月18日の3ヶ月間にご寄付などで協力くださった方々です。ここには、掲載しきれない、その他にさまざまな形で協力くださった皆様もありがとうございます！【店舗・倉庫】丸亀TMO推進協議会(丸亀店)、西川(福岡店)、喜多(福岡店)、(株)セシール(春日町)、富井(満濃町)、長嶋(田村町)【出店協力】4町パティオ広場運営委員会、四国霊場第66番札所雲辺寺【ニュースレター発送】後藤家、高倉恒三、その他たくさんの方々【寄付】香川/青木高子、東くるみ、アベカヨコ、市原吉博、植木優子、植松奈緒子、上村照子、嶋川理恵、エラリー・ジャン・クリストフ、大西昭代、荻田孝行、岡田時計店、加藤博子、菅善明、北山淳子、日下瑞子、倉岡奨学会、(株)合田工務店、小竹由美子、深谷光子、嶋田幸子、清水勉、下笠居東部保育所保護者会、白川保子、小豆島高校職員、大同ガス産業(株)、高井賀高倉千登世、高松工芸高校、多田宏、竹内典子、田辺恵子、筑後英子、鶴身勇二、富真佐子、鳥かい歯科医院、新田美千子、なのはな会、二ノ宮敬治、沼田章、のぞみ総合法律事務所、林田物流(株)、藤野紀子、星野成美、横井宏子、松原志乃、馬淵和哉、マロニエ、三谷範至、三原主幹、宮城正枝、宮井美恵子、三好富士夫、村上瀬里、山下真由、山田美智子、山本政子、古川正美、横田千春、蘆澤裕子、るいま組、若神敦子、愛媛/青野千恵子、大分/村上和代、岡山/沖野貞子、小山津希枝、大阪/浦田幸子、徳芳郎、藤原和子、堀良子、宮本有加莉、神奈川/田中正利、埼玉/阿部カヨコ、河原崎晴美、高倉恒三、千葉/西村典子、東京/(株)アイティエスエス、(株)エンシュアテクノロジ、TNS(株)武居充、中村孝夫、松葉慎之、森川幸恵、栃木/川里宏、平田渥子、富山/荻浦いづる、奈良/瀬崎滋雄、兵庫/ベルシャンパレス、福岡/穴井まち子、後藤富子、後藤キクエ、後藤裕、西田由美子、福岡聖パウロ協会、三上久恵、山本みか、北海道/アースカバー、大波美栄子、海外/HR K P VAN GEND、RAMON CAHENZLI【その他】香川マツダ、コスモ商事(株)、佐川急便(株)、天勝(丸亀)、ブルワン、【ニュースレター作成】(株)アイコー印刷

丸亀店

地元スーパーに4/29 OPEN! マルナカパワーシティ丸亀店2F

2001年よりお借りしていた富屋町商店街の店舗が老朽化し、移転先を探していたところ、四国を中心に展開する食品スーパー、マルナカ(香川で誰もが知る店)のご協力で、パワーシティ丸亀内にオープンすることになりました。2Fのフードコート横で開店します。駐車場も完備されていますので、ぜひお立ち寄りください! お店番、品出し、ディスプレイなどのボランティアを募集中!



助けて下さる方、事務局に連絡を!

旧丸亀店・引っ越し作業
支えてくださった
皆さんありがとうございました

広島店

オープンして約5年。「来るのが楽しみだったのに」「商店街が寂しくなる」と地域の方々に惜しまれながら、今月15日に閉店しました。オープン以来、商店街の皆様はじめ地域の方々に支えていただいたこと、心よりお礼申し上げます。ボランティアの皆さん、お客様もありがとうございました。

ピンチヒッターの

マネージャー米澤さんより

数ヶ月という短い期間でしたが、経験のない私にこんな素敵なお店を任せ下さったこと、温かく受け入れてくださった皆様に心から感謝しています。



セカンドハンド福岡

休みの日にスタッフ間の交流を深め、楽しみつつ運営しています。最近、昔の本など珍しい提供品も増え、来店されるお客様も増えました。また、来店者で協力したいという方が現れ、今後どのような形で活動が広がっていくのか楽しみです。

セカンドハンド北海道

昨年度は学生が卒業しスタッフが少なくなったものの、イベントでカンボジア商品を販売してくれる団体があったり、お寺のイベントに参加したりと広がりもあり、あっという間の1年でした。今年度もより多くの人に参加できる国際協力団体として活動していきたいと思っています。よろしくをお願いします。

セカンドハンドユース

●小指会

第5回 国際協カステージ 無事終了! 「やってよかった」

3月19日、小指会とLIFTの共催でカンボジアの奨学金支援を目的に開催しました。18団体、総勢90名が出演協力してくださり、今年も素晴らしいイベントとなりました。出演者募集から運営までが「こんなに大変とは思わなかった」と学生達にとって苦難の連続でしたが、やり遂げた彼らの表情は晴れ晴れしていました。厳しいアドバイスにも真剣に耳を傾け、目の前のことに向き合う学生達。成長していく姿を見られるのは嬉しいものです。卒業後も地域のために貢献できる人材になれるよう、各地で頑張れ!

小指会のメンバーより

大きなステージをやり遂げた満足感や喜びがありました。観客や出演者の方から「来年も楽しみにしているよ」という声をたくさんいただき、次回もぜひ開催したいという思いでおります!ありがとうございました。



壇上で感謝の言葉を述べる
ユースメンバー

<今後の予定>

5月1日(日)

サンサン祭り@サンポート高松バザー出店
中高生のメンバー募集!

楽しく国際協力してみませんか?

●LIFT

2008年に発足し、今年は代表&世代交代の年になりました。今後は、フェアトレードをさらに広めるという目標だけでなく、貧困削減のために、自分達の興味あることを積極的にやれる場にしたいと考えています。上級生が抜けた不安もありますが、ステージで学んだ「自分達がしなければ!」という思いを原動力に新メンバーで頑張っていきます。

一緒に活動するメンバーを募集中

●関東ユース

1月にチャリティー鍋パーティを開催し、国際協力に関心のある人が集まりました。2月は代々木公園フリーマーケットに出店!メンバー募集中です!関東にいる方、一緒に活動しませんか?



2月のフリーマーケット
予想以上の売上げでした

セカンドハンド総会&来日医師報告会

活動報告と今年度の計画、決算と予算を公開し、承認いただく場です。議決権は会員のみですが、どなたでも参加し、活動の全容を知ることができます。

5月28日(土) 10時～ @アイパル香川

総会后、カンボジアの医師による報告会を開催

報告会:無料

懇親会:要予約(5/20まで)

集めています!

書き損じハガキ、使用済み切手(5mm以上周囲を残す)を集めています。

Second hand Official Supporter (SOS会員)募集

資金面で安定して活動を支えてくださる賛助会員を募集しています。4月スタートの1年毎の更新となりますが、いつでも加入できます。ぜひ、応援してください。

	①一年一括	②定額自動送金(毎月)
個人	一口 10,000円	一口 2,000円
企業・団体	一口 20,000円	一口 3,000円

お振込みは同封の郵便振替用紙をご利用ください。

定額自動送金をご希望の方は、事務局までご連絡ください。

公益社団法人職員・パート募集!

運営、企画、値段付け、倉庫管理等の人材を募集しています。詳しくはHPで。

フリーマーケット隊募集!

セカンドハンドの商品をフリーマーケットで販売しませんか? またバザー開催できる場所等情報をお持ちの方ぜひ教えてください!

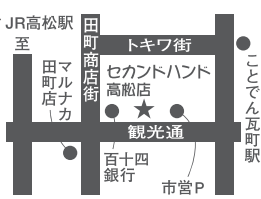
セカンドハンドイベント&ボランティア情報

セカンドハンドのお店、イベントの収益金の一部は被災者支援に充てられます

4月25日(月)～5月7日(土)	ザ・レトロバザール	片原町店
4月27日(水)・28日(木)	セカンドハンド丸亀店オープン準備	マルナカパワーシティ丸亀店 2階
4月29日(祝)	セカンドハンド丸亀店オープン!!	マルナカパワーシティ丸亀店 2階
5月1日(日)	セカンドハンドユース サンサン祭り出店	サンポート高松
5月3日(祝)・4日(祝)	丸亀お城祭り	丸亀城内
5月8日(日)	レトロバザール 撤去作業	片原町店
5月13日(金)～15日(日)	チャリティバザー	イオン高松ショッピングセンター
5月28日(土)	セカンドハンド総会 来日医師による報告会	アイパル香川
9月22日(木)	チャリティコンサート	アルファあなぶきホール

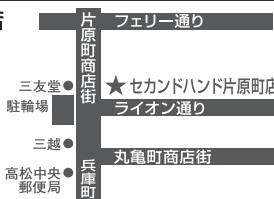
高松店

■セカンドハンド本部<3F>
■高松店<1F>
〒760-0055
高松市観光通1-18
TEL:087-861-9928
営業時間:
10:00～19:00



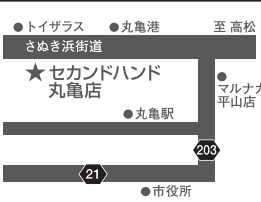
片原町店

■セカンドハンド片原町店
〒760-0040
高松市片原町9-1
TEL:087-822-3552
営業時間:
10:00～19:00



丸亀店

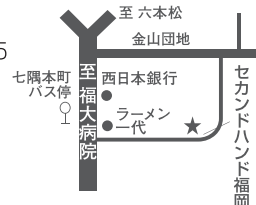
■セカンドハンド丸亀店
〒763-0063
丸亀市新浜町1-803-2
マルナカパワーシティ丸亀店内
TEL:0877-25-2876
営業時間:
9:30～21:00



セカンドハンドのネットワーク

■セカンドハンド福岡

〒814-0131
福岡市城南區松山2-7-15
TEL&FAX:
092-871-5760
営業時間:
月 11:00～15:00



■セカンドハンド大阪

徳 090-6241-3768
(E-mail) tokuyo@d1.dion.ne.jp

■セカンドハンド北海道

大波 Tel:090-2695-9390
Fax:011-785-2311
(E-mail) satomie@seagreen.ocn.ne.jp

● ボランティア募集 ●

お店番、仕分け作業、事務、イベント運営、チャリティーショップやセカンドハンドの運営を支えてください。

☆このニュースレターは3カ月に一度5500部発行しています。封筒作り、発送作業等をボランティアで行い、約4800部を全国の支援者へ無料で発送しています。購読ご希望の方は、ハガキ、FAX、メールなどでお申し込みください。